

# 褥婦が産後ケア施設に求めるもの

— 1か月健診時のアンケート調査より —



真田産婦人科麻酔科クリニック・福岡県福岡市 ○松浦和子 松田廣実 酒井康子 平川万紀子 平川俊夫  
福岡女学院看護大学 福澤雪子

## 【研究目的】

出産後女性の心身をサポートする産後ケア施設にどのようなケアが求められているか把握・検討する。

## 【研究方法】

**研究対象**：平成25年9～12月に当院で出産した褥婦234名のうち産後1か月時のアンケートに回答した225名。

**調査期間**：平成25年9月～平成26年1月。

**調査項目**：属性,産後サポートの有無,受たいケアの内容・形態・料金。

**調査方法**：2週間健診時に調査主旨を説明,同意を得て自記式質問紙(無記名)を配布,1か月健診時に回収。

## 【産後ケア事業とは】

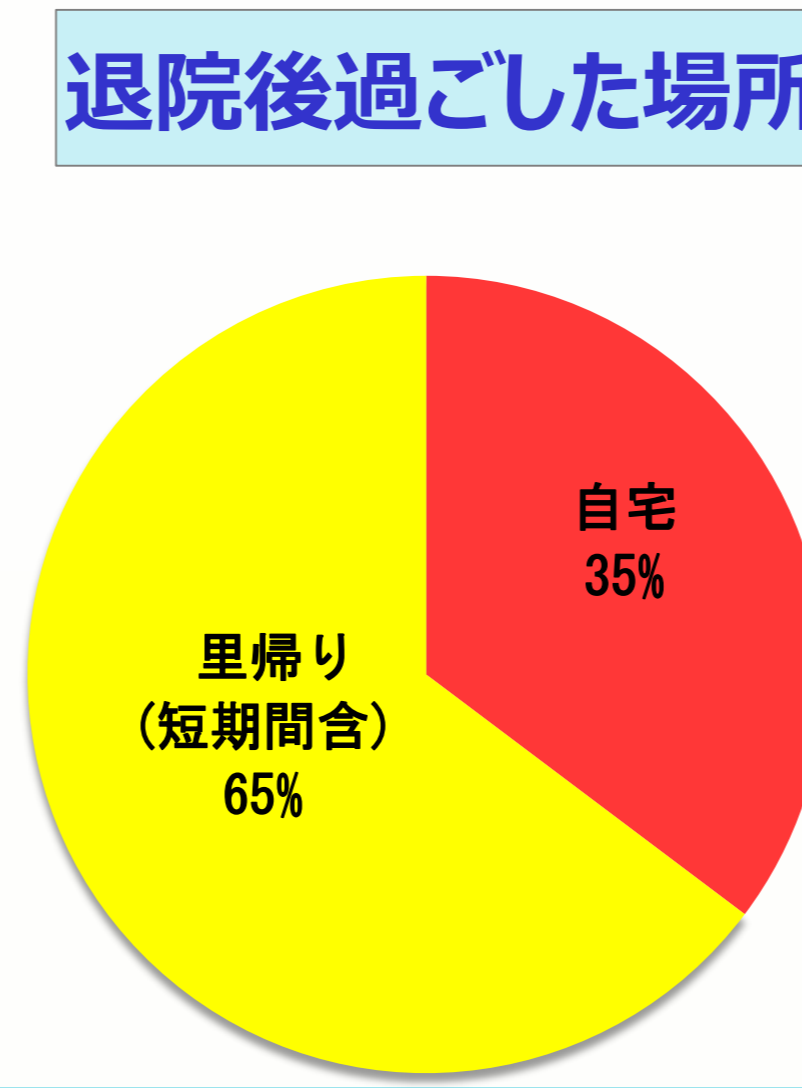
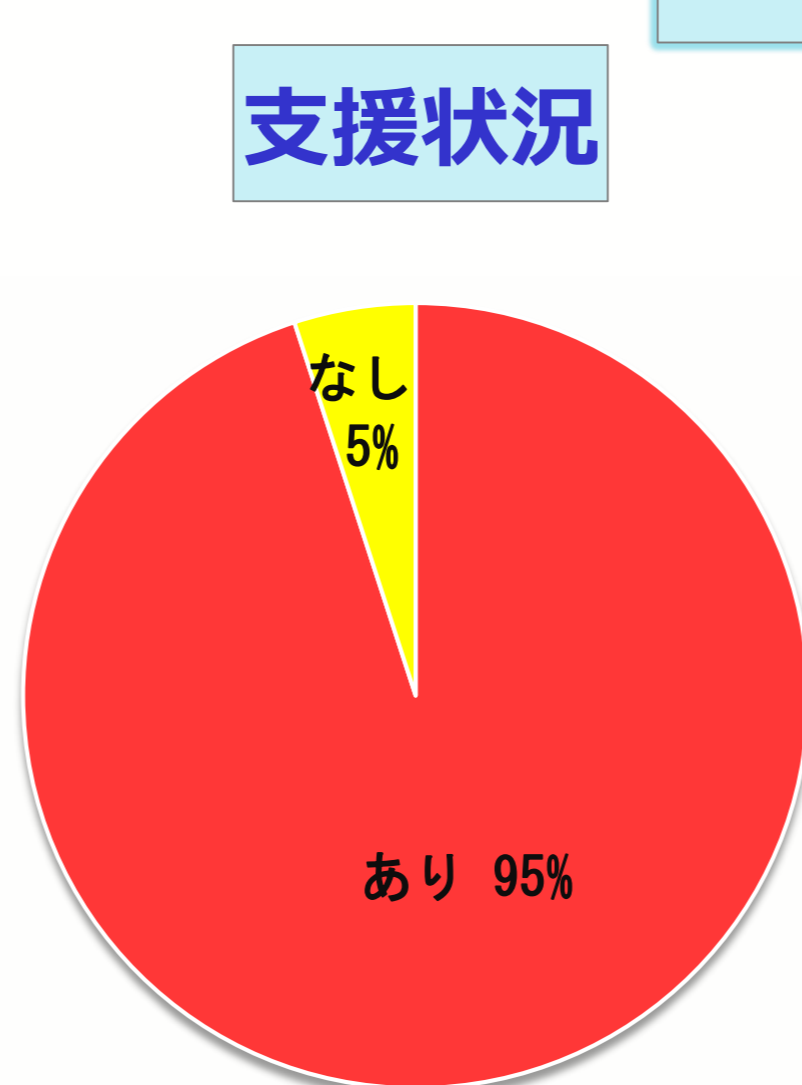
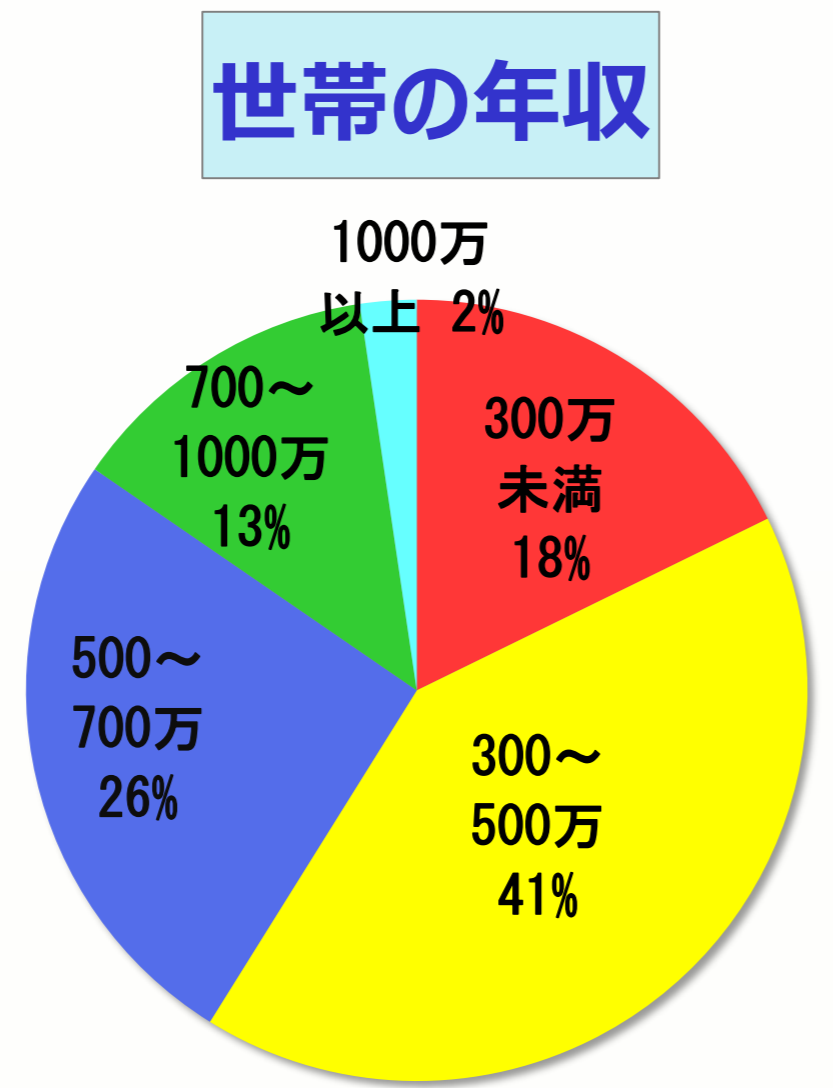
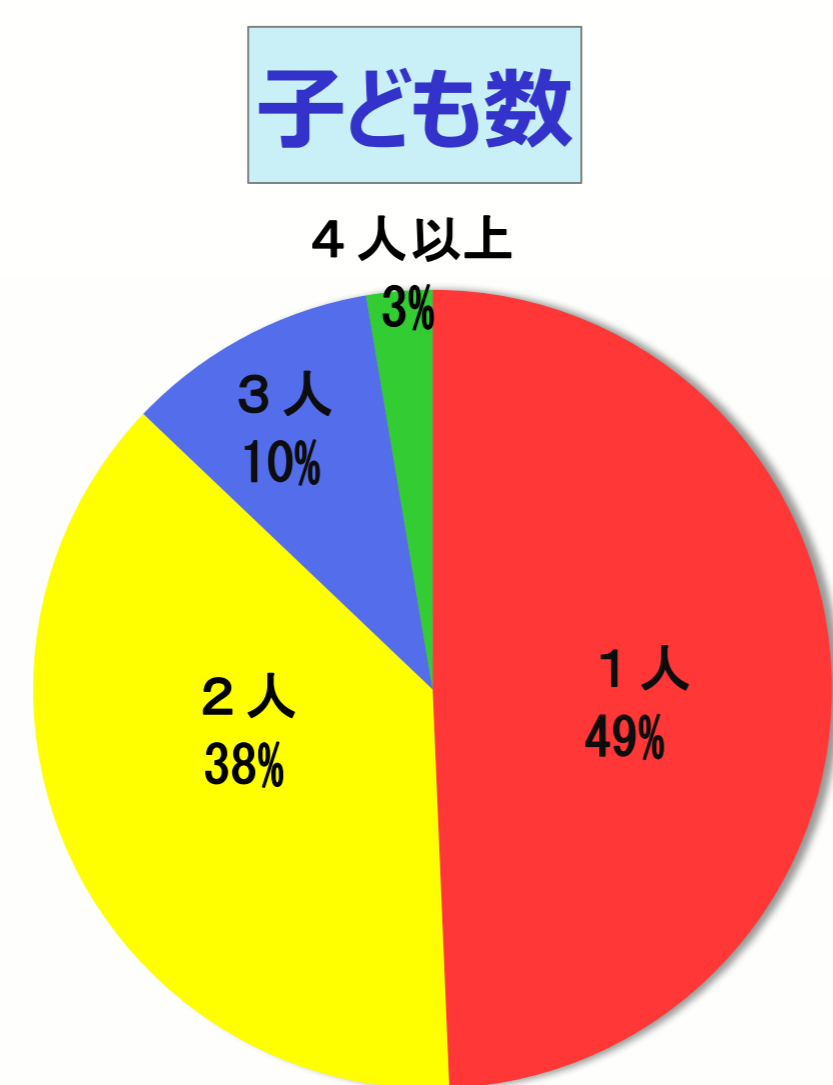
・厚生労働省は少子化,核家族化,地域のつながりの希薄化等により,地域において妊産婦やその家族を支える力が弱くなってきており,妊娠・出産・子育てに係る父母の不安や負担が増えてきていることから,より身近な場で妊産婦等を支える仕組みが必要であるとし,妊娠・出産包括支援モデル事業を進めている。

・産後においては,産科医療機関からの退院直後の母子への心身のケアや育児のサポートなどを行う産後ケア事業を掲げており,平成27年度以降はモデル事業ではなく,本格実施に移行し,例えば地域子ども・子育て支援事業の中で実施することも検討可能としている。

(厚生労働省HPより)

## 【結果1.対象の背景】

**分析対象**：初産婦111名,経産婦114名, **年齢層**：30～34歳>25～29歳>35～39歳,  
**就労状況**：主婦123名(54.9%),有職85名(37.9%),無職6名(2.7%),その他10名(4.5%)  
**家族形態**：核家族198名(88.4%)



分析対象の大多数が産後の支援を受けていた

**支援してくれた人**  
〔複数回答,人数(%),n=224〕

実母	193(86.2)
夫	163(72.8)
義母	49(21.9)
その他	48(21.4)

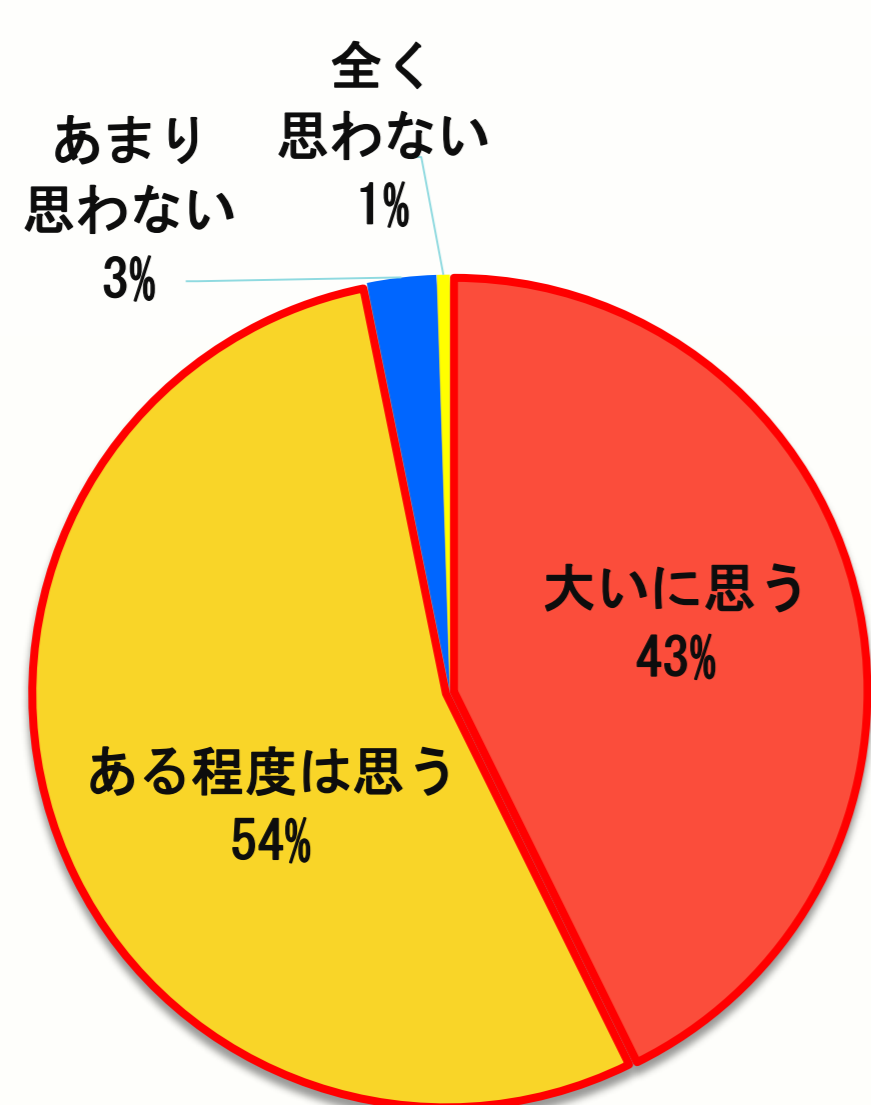
**支援項目**〔複数回答,人数(%),n=224〕

家事	214(95.5)
沐浴	169(75.4)
おむつ交換	116(47.3)
上の子の世話	104(91.2*)
授乳	57(25.4)
経済的支援(夫を除く)	57(25.4)
その他	22(9.8)

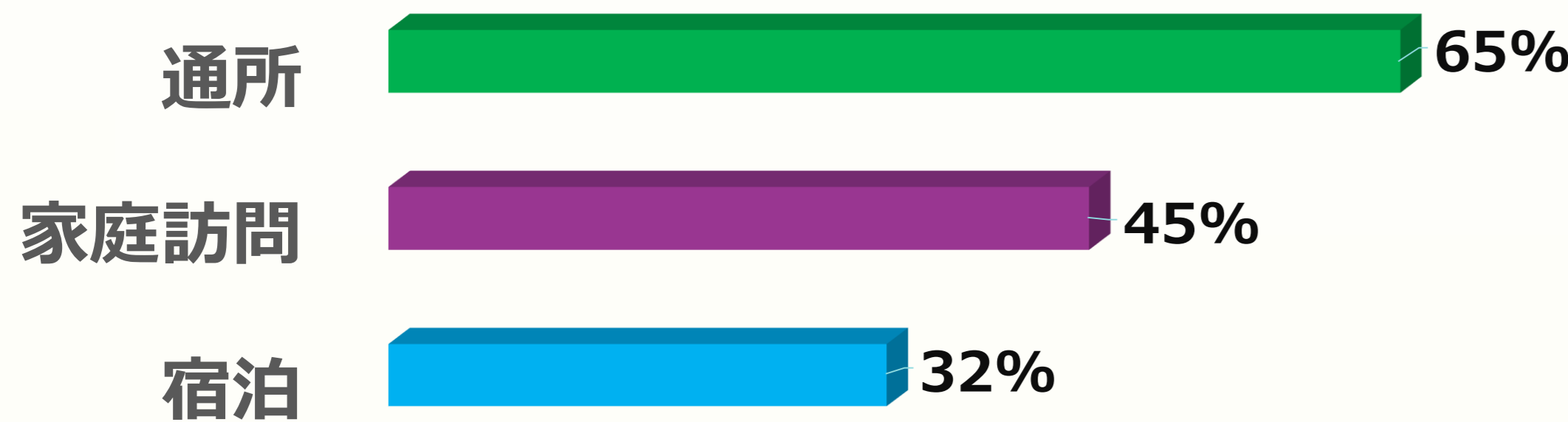
\*経産婦における割合

## 【結果2.産後ケア施設に求めるもの】

### 産後ケア施設があれば出産・育児への不安が和らぐか



### どのようにしてサービスを受けたいか(複数選択)



### 受たい産後ケアサービスの内容上位2項目〔複数選択,人数(%),n=225〕

母親の心身のケア	骨盤ケア	185(82)
	休養	125(56)
乳房ケア	おっぱいトラブルケア	134(60)
	おっぱいマッサージ	103(46)
児のケア	発育・発達チェック	179(80)
	ベビーマッサージ・ふれあい遊び	132(59)
育児サポート	育児相談	125(56)
	授乳指導	107(48)
食事のサポート	バランスの良い家庭的な料理の提供	204(91)
	離乳食教室	177(79)

### 希望利用料金〔人数(%)]

通所	5,000円未満	169(77.1)
	5,000円～1万円未満	42(19.2)
宿泊	1万円未満	126(59.2)
	1万円～2万円未満	72(33.8)

## 【考察】

- ・すでに支援を受けている褥婦も,産後ケア施設があればさらに不安が和らぐと高率で答えている。
- ・パーリーナー(2010)は,母親が受たい産後ケアは1.乳房ケア,2.発育発達チェック,3.育児相談,としているが,本研究では更に,4.母親の心身のケア,5.食事についてのサポートも求められていることがわかった。
- ・外せない産後ケアとして以下の項目が挙げられる。
  - 1.母親の心身のケア：骨盤ケア・休養など心身の不具合に応じたケアとカウンセリング
  - 2.乳房ケア：マッサージ・乳房乳頭トラブルケア・卒乳相談ケア
  - 3.児のケア：発育・発達チェックと栄養評価から哺乳法の修正・ベビーマッサージ・ふれあい遊び・沐浴・泣きへの対応
  - 4.育児サポート：育児相談・授乳指導・育児支援情報発信・社会資源紹介・家族を含めたケア及び指導・地域との連携
  - 5.食事のサポート：栄養バランスの良い家庭的な食事の提供・レシピ紹介とクッキング・離乳食教室
- ・利用しやすい形態・料金などで課題が残る。

## 【結論】

・産後ケア施設には,母親の心身のケア・乳房ケア・児のケア・育児サポート・食事のサポートなどが求められている。

